

III 教科に関する調査結果の分析

1 小学校「国語」

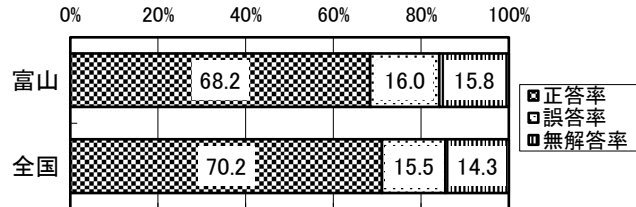
(1) 問題番号3二 <正答率が全国よりも低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 A話すこと・聞くことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- ・正答率は68.2%で、全国平均よりも2.0ポイント低い。また、無解答率が15.8%で、全問中最も高い。
- ・誤答については、寺田さんと山本さんの二人がどのような思いでボランティアを続けているのかについて分かったことを書いていない解答が8.3%（全国8.3%）で、【インタビューの様子】の言葉や文を書き写している解答も含まれる。



3 谷さんの学年では、学校ボランティアの人たちを全校にしようかいるために、自分の相手を決めてインタビューをしました。次は、【谷さんの考え】と【インタビューの様子】です。これらをよく読んで、おのりの問いに答えましょう。

【谷さんの考え】

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変そう。どうして続けているのだろうか。私の通学路に立ってくださっている寺田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。

【インタビューの様子】

谷さん：こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願ひします。お二人は、毎朝七時半から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

寺田さん：確かに早いです。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと願っています。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと願っています。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと願っています。

山本さん：僕は、最近この地域に引っ越しになりました。見守りボランティアを始めました。慣れないところは大変でしたが、今は慣れてきました。大変ではありません。

谷さん：そうですね。元気をもらっているということについて、もう少し詳しく教えてください。

山本さん：子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとうございます」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出ます。町で出かけた保護者の方が、「いつもありがとうございます」と言ってくれていることもあり、やりがいを感じています。

谷さん：ありがとうございます。アお二人がボランティアをやっていてよかったことなど教えてください。

山本さん：はい、そのとおりです。ボランティアをやった本意によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいの方が大きいです。

寺田さん：なるほど、そうですね。

谷さん：私も子供たちが安全に登下校している様子を見ることができ、やりがいを感じます。子供たちの笑顔を見るときには、さらにうれしいうれしい気持ちになります。ボランティアを始めてよかったことなど教えてください。

寺田さん：一人です。下校するときに声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見るのは、とてもうれしい気持ちになります。

谷さん：そうですね。ありがとうございます。

はじめは、見守りボランティアの仕事を大変な仕事かと思っていましたが、全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございます。

二 谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを「インタビューの様子」の□で話そうとしています。あなたが谷さんなら、どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。
- 「インタビューの様子」の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出した言葉に続けて、四十文字以上、六十文字以内にとめて書くこと。なお、書き出した言葉は、字数にはふくまない。

※左の印刷用紙は書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。※左の印から書きましょう。どちらでも使わないで、続けて書きましょう。

はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと思っていましたが、

正答例 お二人とも、大変さよりも子どもたちの安全を守るやりがいの方が大きいです。ボランティアを続けていることが分かりました。(五十八字)

学習指導上の留意点

- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるようにする

話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切である。

指導のポイント

- ・インタビューをする前に、自分が知りたいことや疑問に思っていることなどを整理したり、答えを予想したりしておくなど、相手が自分に伝えたいことや自分が求めている情報等を明確にして聞くことができるようにする。
- ・インタビューの進め方を友達と確認し合いながら吟味していく場を設定する。
- ・インタビューの際には、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、更に質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめていくことができるように指導する。

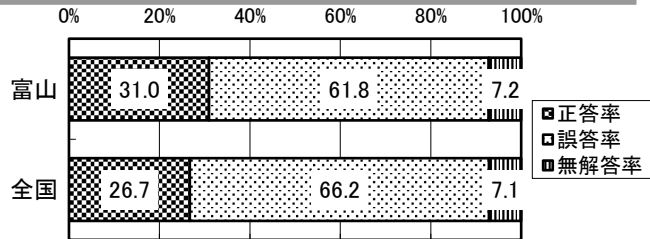
(2) 問題番号 1 二 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 B書くことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 図表やグラフ等を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

- ・正答率は31.0%で、全国平均よりも4.3ポイント高いが、全問題中、最も低い。
- ・無解答率は7.2%（全国7.1%）。
- ・誤答については、グラフとカードのいずれかの情報しか取り上げていない解答が37.0%（全国37.4%）で、複数の情報を用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。



正答例

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしまうか、減ってしまうかという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(200字)

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、川村さんの考えと川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あなただけで書きました。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゆんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとよくくらべてみました。うきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下じゆんにお米をしょうかくすることができました。

【カード①】

6月24日
思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいきょうするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日
雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
調査きかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日
学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日
【農家の石山さんのお話】
雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
雑草が多いと、いねが病気になることがある。
農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
【学校でできる解決方法】
雑草取りの回数を増やす。
雑草取りの人数を増やす。

学習指導上の留意点

- 図表やグラフ等を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする

伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフ等を用いるとよいかを児童が考えられるようにすることが大切である。

指導のポイント

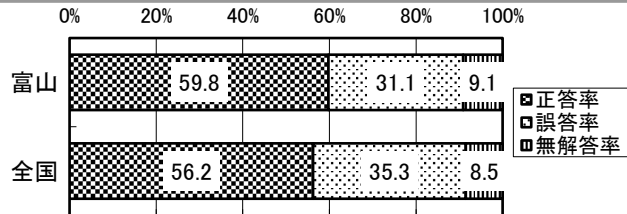
- ・児童の学習の状況に応じて、教師が、図表やグラフ等を用いたモデルとなる文章を提示する。その際、複数の文章を比べることで、図表やグラフ等を用いることのよさを実感できるようにする。
- ・推敲の際には、図表やグラフ等の用い方は適切か、図表やグラフを用いることで書く必要がなくなった文章はないか、あるいは、文章で説明を加えた方が分かりやすい部分はないか、といった観点を示す。
- ・それぞれの図表やグラフの特徴や優れている点等について、他教科等と関連して指導するように工夫する。

(3) 問題番号 2 四 <正答率が低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 C読むことオ
 評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

- ・正答率は 59.8%で、全国平均よりも 3.6 ポイント高いが、全問題中 2 番目に低い。
- ・無解答率は 9.1% (全国 8.5%)。
- ・誤答については、資料から分かったことが、運動と食事のいずれかしか書いていないものが 19.5% (全国 22.3%) で、複数の資料を比較したり関連付けたりすることができていなかったと考えられる。



【資料 2】運動について書かれたパンフレットのページ


四 運動で健康な体をつくらう！

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気の抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちもリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、庭芸運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のゆわらかさを高める運動や、たくさん動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、次の散歩、階段の上り下り、深呼吸などが、日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例


主に筋力を高める運動の例


【資料 3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ


栄養素の働き


規則正しく食事をするこにより、腸が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものばかり食べたりしていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいららなくなったりします。


食品は、栄養素の働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーの源になります。肉や魚などは、主に体をつくるものになります。野菜がたっぷり入った汁がたりやすくなったりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、病気をかきにくくなります。

(栄養素の主な働きと食品の例)

主にエネルギーの源になる


主に体をつくるものになる


主に体の調子を整えるものになる


2 相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ「資料 1」、「資料 2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたい。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。

【資料 1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供から若年寄りまで過度に運動をすることが大切だと書かれています。私たちが日々行っている運動には、いくつもの種類があります。例えば、体はたくさんの筋力を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

生活の中に自分好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じて運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

四 これから自分ができそうなことを考えてまとめるようにしていきます。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

○ 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
 ○ 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
 ○ 八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

※ 五行の縦罫線は下書き用です。実際に書くときは、縦罫線は消して書きましょう。

※ 書きの順序は自由です。下書きが終わったら、もう一度行を直してください。

正答例

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。(九十九字)

学習指導上の留意点

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、既知の知識等と結び付けて自分の考えを形成することが重要である。

指導のポイント

- ・読む目的を意識することを促し、文章を読んで理解したことの中に、自分が既にもっている知識や実際の経験と結び付くことはないかを考えながら読むようにする。
- ・複数の本や資料を読んで分かったことを整理したり、分かったことの中から既知の知識や体験等に結び付くものを考えたりしながら自分の考えをまとめる活動を設定する。
- ・複数の資料を比較したり関連付けたりして考えた方が、文章をよく理解したり、自分の考えを広げたりすることにつながることを実感できるようにする。